

相模大野図書館 ヤングアダルト向け読書案内

YAD

2025.3

Vol. 36

新着紹介

新しい本を
CHECK!

新たな一步を
本で応援します！
新生活の本

職場体験に
来てくれた
中学生の
おすすめ本

図書館で
ボドゲしよう！
ボードゲーム
イベント告知

毎号恒例
図書館員
おすすめ本

新しい生活のヒント あつたらじい
相模大野図書館に
寄つてかない？





『たくさんのドア』
アリスン・マギー／文
ユ・テウン／絵
なかがわ ちひろ／訳
主婦の友社

あなたの前にある、たくさんの見えないドア。開くのをためらう時や、怖い時もあるけど、きっと楽しいこと、素敵なことも待っているはず。

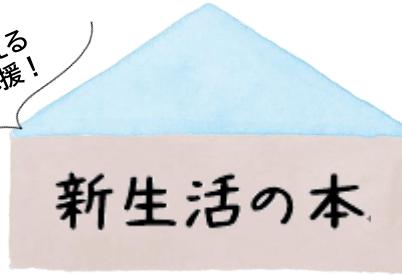
あなたの勇気をそっと後押ししてくれる絵本です。



590
『これが正解！ひとり暮らしスタートブック
ひとり暮らしがもっと楽しくなる！』
主婦の友社／編 主婦の友社

ひとり暮らしに役立つ知識を網羅した実用書。部屋探しや引っ越し準備、インテリアの基本、掃除や洗濯のコツ、災害対策や防犯、金銭管理、人間関係のトラブル対処法など幅広く解説。オールカラーのイラストで読みやすいです。この本があれば、ひとり暮らしの不安がきっと解消されます。

新しい環境を迎える
あなたを本で応援！



YA361
『友だち関係で悩んだとき役立つ本を紹介します。』
河出書房新社／編
河出書房新社

友だちとのことで、ちょっとモヤモヤしているけど、誰にも相談できない……。そんな時の助けになる本を、作家や哲学者など、人生の先輩たちが紹介してくれます。新生活での友だちづくりの参考になる一冊。



YA280
『ヤバすぎる！
偉人の勉強やり方図鑑』
真山 知幸／著
大和書房

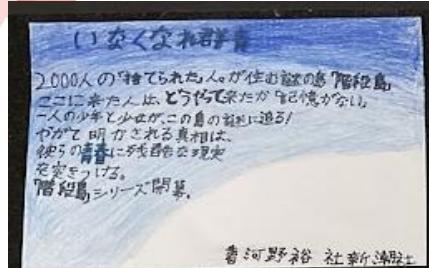
エジソンやスティーブ・ジョブズなどの偉人は、どんな勉強をしてきたのか、気になりませんか？この本には、そんな偉人たち100人のちょっと変わった勉強法が紹介されています。偉人たちは誰もが好奇心旺盛。「好き」から始まる勉強法を、あなたも探してみてください。



YA913
『この川のむこうに君がいる』
演野 京子／作 理論社

東日本大震災で兄を失った宮城県出身の梨乃。彼女は震災経験を隠し、東京の高校で新生活を始めます。一方、同じ吹奏楽部に所属し、福島県での被災体験をオープンに語る遼。梨乃はそんな遼と距離を置こうとしますが……。

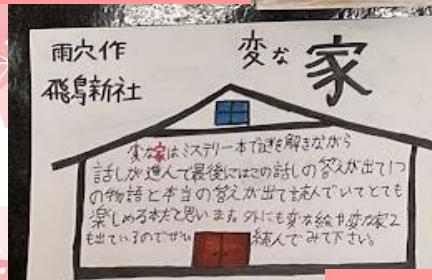
異なる背景を持つ二人は次第に心を開き、互いの苦悩を共有するなかで希望を見出していくます。



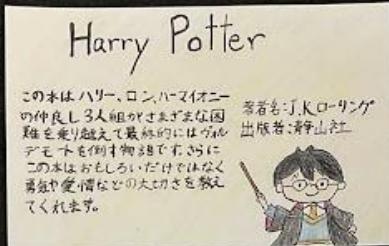
BFYA 『いなくなれ、群青』
河野 裕/著 新潮社



952.7
『ゴードーを待ちながら』
サミュエル・ベケット／著
安堂 信也・高橋 康也／訳
白水社

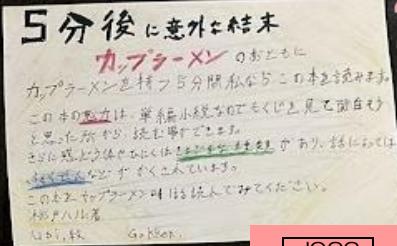


147 『変な家』

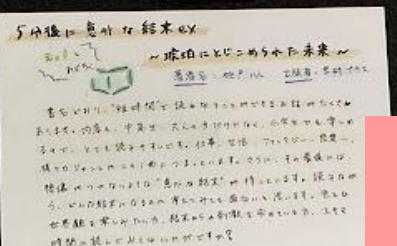


この本はハリー、ロン、ハムイローの仲良し3人組がさまざまな困難を乗り越えて最終的にはハムイローを倒す物語です。35歳の著者名: J.K.ローリング
出版社: 青山社

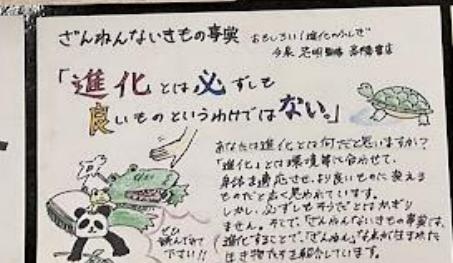




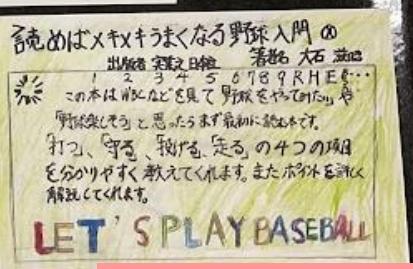
J933
『ハリー・ポッター』シリーズ
J. K. ローリング／作
松岡 佑子／訳 静山社



YA913 ゴフン
『5分後に意外な結末』シリーズ
桃戸 ハル／編著 usi／絵
Gakken



YA480 『ざんねんないきもの事典 おもしろい！進化のふしぎ』
今泉 忠明／監修 下間 文恵・徳永 明子・かわむら ふゆみ／絵
高橋書店



J78 『読めばメキメキうまくなる野球入門』

参加
待ってるよー！

図書館でボードゲームに出会う日

◎日時：2025年3月28日（金）17時30分～19時30分

※最終入場は19時まで



◎場所：相模大野図書館 4階児童フロア

◎対象：小学生以上ならどなたでも ※ただし小学生は保護者同伴

参加無料

申込不要

入退場自由

昨年3月に始まったボドゲイベントも今回で3回目！毎回幅広い年代の方にご参加いただき、とても盛り上がっています♪

今回はゲームのラインナップが少し変わります。いつも来てくれている方も初めての方も、ぜひ遊んでください。お待ちしています！

ボドゲ関連本紹介



J81

『ことばハンター 国語辞典はこうつくる』
飯間 浩明／著 ポプラ社

国語辞典編集者のノンフィクション。
言葉遊びボドゲ「ワードスナイパー」が
好きな人におすすめ。

JENGAの生みの親が語る、挑戦の日々。



759

『JENGA 世界で2番目に売れているゲームの果てなき挑戦』
レスリー・スコット／著 雨宮 寛・今井 章子／訳
東洋経済新報社

★図書館員おすすめ本★

図書館員 M

歌いたくなる度



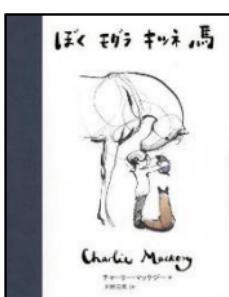
BFYA

『くちびるに歌を』

中田 永一／著 小学館



五島列島の中学校が舞台。はじめは女子だけだった合唱部に、^{かしわぎ}臨時教師である柏木先生の影響で男子も入部することに。コンクールを目指しつつも、生徒はそれぞれ悩みを抱えていて……。自分自身の気持ちと向き合い、誰かと歌う喜びや温かさが描かれた青春小説です。



図書館員 K

勇気づけられる度



937 『ぼくモグラキツネ馬』

チャーリー・マッケジー／著

川村 元気／訳 飛鳥新社

ひとりぼっちの少年が、ケーキが大好きなモグラと無口なキツネ、そしておだやかな馬に出会う。

少年は動物たちと語り合いながら、帰る「うち」を求めて一緒に森をさまよう。動物たちからの温かい言葉に勇気づけられ、少年はやがて「うち」をみつけていく。



新着情報コーナー



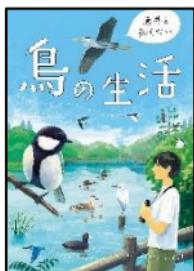
「自分は大丈夫」。こう思っていても、闇の組織は巧妙に若い世代に近づいてきます。

闇組織から身を守るターニングポイント、闇組織の手口、実際に加担してしまったらどんな罪に問われ懲役何年か、などをマンガで具体的に解説しています。

YA368 『あの時こうしなければ……

本当に危ない闇バイトの話』

廣末 登・芳賀 恒人／監修 金の星社



「身近な野鳥」と聞いてどんな鳥を思い浮かべますか？ハト、カラス、スズメ……。実は私たちの身の回りではもっといろいろな鳥が生活しています。夕方の駅前で街路樹に群がっているあの鳥は？歩道を高速で走り回るあの白黒の鳥は？野鳥にちょっと詳しくなれるコミックエッセイです。

YA488 『意外と知らない鳥の生活』

piro piro piccolo／著 KADOKAWA



虹いろ図書館の犬上さん。高校を卒業してから11年間図書館に勤務しましたが、来年度は他の部署に異動です。

シリーズ6巻目にして完結の本作。図書館の保存書庫に毎日通う中学生、小さい頃、よく図書館に来ていた小学生、憧れの先輩などシリーズで登場した人物も加わって、図書館であれやこれやと繰り広げられます。

YA913

『虹いろ図書館 司書のぼくと運命の一年』

櫻井 とりお／著 河出書房新社